

第1回「山の日」記念全国大会
実施計画 骨子



第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

第1回「山の日」記念全国大会の概要

1 大会名

第1回「山の日」記念全国大会

2 大会期間

平成28年8月10日(水)から11日(木)祝日まで 2日間

3 行事概要等

日 時		場 所	行事概要	備 考
8 月 10 日	12:30 ~ 14:00	松本市内	山に関する国際的な会議	山に関係の深い各国、県内高校生 他
	15:00~	ホテルブエナビスタ	レセプション	招待者
8 月 11 日	9:00 ~ 10:45	上高地バスターミナル	記念式典 ～山に親しむ機会の創出と発信～	招待者 (400～ 500人)
	15:00 ~ 16:30	まつもと市民芸術館	祝祭式典 ～山の日誕生の祝祭と恩恵への感謝～	招待者・一般公募 (800～1,000人)
大会期間中 (終日)		松本市街地及び上高地	記念行事(音楽・講演・展示 等)	一般参加

4 開催意義及び大会理念

(1) 開催意義

- ① 長野県は全国有数の山岳県・森林県であり、「日本の屋根」と称される日本アルプスを有し、松本市は我が国を代表する「岳都」であること
- ② 上高地は近代登山発祥の地と言われ、W. ウェストンによって世界に紹介
- ③ 中部山岳国立公園に位置し、国の特別名勝・特別天然記念物に指定

(2) 大会理念

- ① 山の日制定趣旨(山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する)を国民に広く浸透を図ること
- ② 山に関する歴史や文化、環境、観光、安全、教育等の「山と人」との関わり方を見つめ直し、様々な課題の解決につなげる契機とするとともに、次代を担う子どもたちと一緒に「山の未来」を創造する第一歩とすること
- ③ 世界で初めて「山」を対象とした祝日であることを国内外へ発信するとともに「山」に関する国内外の幅広いネットワークを構築する機会とすること

5 推進体制

(1) 主催者

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

(2) 協賛及び後援等

民間企業等による協賛及び国機関並びに地方6団体等による後援を予定

第1回「山の日」記念全国大会 スケジュール

日時	全体計画(主催者)		招待者					一般参加者	
	上高地BT	市民芸術館	特定	特別	各国	一般A	一般B		
9日	会場準備								
10日								記念行事(各地)	
11:00					市内着 (移動)				(受付)
12:30		国際会議			国際会議				国際会議 (一般傍聴)
14:00			市内着 (移動) (受付)	市内着 (移動) (受付)					
15:00		レセプション	レセプション						
16:00						市内着			
16:30		(移動)	市内着		(移動)	市内発			
17:00	(移動) ←	市内発							
17:30									
18:00			(夕食)			上高地着			
18:30	上高地着					(夕食)			
19:00	(夕食) (宿泊)		(宿泊)			(宿泊)			
11日(祝)									
6:00	(朝食)								
6:30	(移動)		(朝食)	(朝食)	(朝食)	(朝食)			
7:00	(受付)		市内発						
			(受付)	(移動)	(移動)	(移動)			
9:15	記念式典		記念式典						
10:45	(移動)								
11:15	上高地発 →	(移動)	(昼食)	(上高地内自由行動) (祝祭式典参加希望者：送迎)					(受付)
13:00	記念行事	市内着 (昼食)	上高地発 市内着			市内着 (受付)		記念行事 (一般参加)	
15:00		祝祭式典	祝祭式典						祝祭式典 (一般公募)
16:30									
			(散会～帰路)						
12日	会場撤去								

式典行事計画(プログラム)

1 記念式典(上高地バスターミナル)

【コンセプト】			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山に親しむ機会を得る ○ 「山の日」の制定を記念した第1回の式典 ○ 美しく雄大な自然の中から、「山の日」の意義と「山」の魅力・価値を世界に向けて発信 			
区分	時間	プログラム	趣 旨
招待者入場	8:00		
プロローグ	9:13	プロローグ	■ 上高地をはじめとする信州の山の姿や文化等を映像にまとめ、「山の国」日本の魅力・価値を世界に発信
	9:24	はじめまして「山の日」	■ 「山の日」制定経過と制定趣旨を説明
記念式典	(50分)	9:30 開会の言葉	■ 「山の日」の始まりを記念する開会あいさつ
		国歌斉唱	
		あいさつ	■ 山の日誕生記念、主催者及び歓迎の言葉 等
		「山の日」制定記念音楽演奏	■ 世界的な音楽家集団による演奏で、「山の文化を育む力」を表現
		「山」に寄せるメッセージ	■ 出演者のメッセージにより、「山」との関わり の多様さと国を挙げた祝日を表現
		「山の日」宣言(仮称)	■ 「山の日」の制定を機に山と人の関係を見つめ直し、「山に親しみ山の恩恵に感謝する」姿勢を宣言
	10:20	閉会の言葉	
エピローグ	10:23	山への第一歩	■ 「山の日」の始まりを象徴する行動で、「山へと向かう気持ち」を表現

2 祝祭式典(まつもと市民芸術館)

【コンセプト】			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「山の恩恵」に感謝する ○ 「山の日」にともに集い、ともに祝う ○ 「山」の未来を考え、未来につなぐ 			
区分	時間	プログラム	趣 旨
招待者入場	12:50		
プロローグ	13:00	プロローグ	■ 記念式典(上高地会場)の録面映像を放映し、祝祭式典会場の参加者と意識を共有 ■ 山の恩恵、山の歴史・文化を映像で紹介し、改めて山への感謝の気運を醸成
	14:58	はじめまして「山の日」	■ 「山の日」制定経過と制定趣旨を説明
祝祭式典	(60分)	15:00 開会の言葉	
		あいさつ	■ 主催者、来賓の言葉 等
		「山の日の歌」表彰式	■ 全国山の日協議会が公募した「山の日の歌」の歌詞の最優秀賞等を表彰
		祝祭演目(舞踏、歌唱、提言など)	■ 「山の日」の誕生を様々な芸術活動等で祝祭・新たな視点からの「山の恩恵」の再発見・「山」に対する思いや願い感謝の気持ちを表現した舞踏・歌唱・提言 等
		次期開催地への承継(リレーセレモニー)	■ 「山の日」制定の趣旨や第1回「山の日」記念全国大会理念の次期開催地への引継ぎ
	16:00	閉会の言葉	
エピローグ	16:04	エピローグ	■ 「山の日」制定を祝い「山の未来」に向けて、「山と関わる機会を創出」する行事を開催

式典行事計画 招待者(候補)等の概要

参加者区分		想定規模	
		記念式典	祝祭式典
特定招待者	<p>山に関係の深い各国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス、イタリア、アメリカ、カナダ、中国、韓国、ネパール、オーストラリア 等 <p>長野県・松本市海外姉妹都市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河北省、ミズーリ州、グリンデルワルト、ソルトレイクシティ、カトマンズ、廊坊市 	10～20 人	5～10 人
特別招待者	<p>国務大臣</p> <p>国会議員（議長、山の日議連関係者等）</p> <p>松本市姉妹（友好）都市の代表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市、姫路市、高山市、金沢市、札幌市、鹿児島市 <p>地方6団体の代表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会 	70～100 人	15～30 人
一般招待者A	<p>長野県関係国会議員</p> <p>県・市の観光大使</p> <p>次期開催県知事</p> <p>次期開催市町村長</p> <p>協賛企業の代表者</p> <p>実行委員会構成機関が推薦する者</p>	100～130 人	30～60 人
一般招待者B	<p>県議会議員</p> <p>市議会議員</p> <p>県内市町村長</p> <p>協賛企業の関係者</p> <p>地元（地域）関係者 等</p>	120～150 人	150～200 人
一般公募		—	500～600 人
本部長及び協力者	<p>実施本部長（主催者等）</p> <p>運営要員等</p>	100 人程度	
開催規模(想定)全体		400～500 人	800～1,000 人

- (注) 1 記念式典又は祝祭式典の別は、招待者の希望等を調整するため、規模はあくまでも概数。
 2 開催規模(想定)全体の数値は、各式典会場の規模から推計。

第1回「山の日」記念全国大会 記念行事計画

1 「山」をテーマにした国際的な会議

(1) 趣 旨

「山の日」の制定を記念し、記念大会の理念を具現化するとともに、世界で初めて「山」を対象とした祝日の誕生を機に日本(長野県、松本市)の「山」の魅力・価値等を国内外に向けて発信することを目的に、記念大会に御招待する山に関係の深い各国大使等にお集まりいただき、「山」をテーマとした国際的な会議を開催する。

(2) 日 時 平成28年8月10日(水) 12:30~14:00

(3) 場 所 松本市内

(4) 参加候補者

ア 山に関係の深い各国から参加者を募集

イ 国・県・市機関、山に関係する団体代表者等

ウ 一般参加(県内高校生、観光関係者、NPO代表者、メディア関係者 等)

2 レセプション

(1) 趣 旨

山岳県信州・岳都松本ならではの「山の恵み」を振る舞い、歴史と文化を実感していただける演出を行うとともに、式典への招待者を歓迎し、参加者の懇親を深める場としてのレセプションを開催する。

(2) 日 時 平成28年8月10日(水) 15:00~16:00

(3) 場 所 ホテルブエナビスタ(松本市内) 3階グランデほか

(4) 出席予定者

招待者

(5) 提供メニュー候補

信州産の食材や県内産の日本酒、ワイン、クラフトビール、県内産果樹を使用したジュース等

3 「山」をテーマとした音楽・講演・展示等

(1) 趣 旨

「山の日」の誕生を多くの皆様と祝い、祝日制定の趣旨の浸透を図るとともに、「山」に関する様々な情報を発信し、「山」への意識の高揚を図ることを目的に、「山」をテーマとした音楽・講演・展示等を各地で開催する。

(2) 日 時 平成28年8月10日(水)~11日(木) 祝日 終日

(3) 場 所 松本市街地及び上高地 他

第1回「山の日」記念全国大会ロゴマークの決定

1 趣 旨

「第1回『山の日』記念全国大会基本計画」に基づき実施する本大会の大会理念等を象徴し、国内外に効果的に発信するためのキャッチフレーズ及びシンボルマークを制作する。

2 基本的な考え方

- ① 山の未来を担う子供たちとともに作りあげるもの。
- ② 「山への想い」を表現し、「山と人（子供たち）との関わり」を具現化することで、誰もが納得し語り継がれていくもの。
- ③ 山と深い関わりのある開催地で居住しているからこそ表現できる「山と人（子供たち）」の関わり方についてのメッセージが込められたもの。
- ④ 子供たちが山の未来を考えながらつくる制作過程を、第1回全国大会を盛り上げる広報事業として位置付けるもの。

3 制作及び選考の流れ

区分	キャッチフレーズ（CF）	シンボルマーク（SiM）
基本	「山の未来」を担う子供たちとともに作りあげる	
方向性	全国の子供たちの「山への想い」を表現	地域の子供たちの「山と人との関わり」を具現化
制 作 方 法	<u>国民こぞって参加することを表現</u> 全国の小・中・高校生から公募。未来を担う子供たち誰もが「山」を考え、「山の日」制定を祝う全国大会への関わりを表現 【公募方法】 期間：2月22日（月）～3月31日（木） 内容：CFと「山への想い」エピソード 方法：大会専用 HP、SNS、プレスリリース等により募集	<u>コラボレーション</u> ・開催地域（安曇小・大野川小・奈川小の4～6学年）の児童 ・小野圭介デザイナー（長野市育ち、SiM制作実績：JP日本郵政グループ 他） 【ワークショップの実施】 日時：3月12日（土）午後 場所：安曇小中学校 委託：ABC㈱（企画提案募集により決定）
広 報	応募作品の発表（専用ウェブサイトでの公開や展示ブース設置）など	制作過程（ワークショップ）を記録し、テレビやラジオ、ウェブサイト等で広報（PR）
選 考	運営委員会で予備選考し、第2回実行委員会において決定	
完成形	合体させて大会シンボルマークとして完成 4月28日	

4 キャッチフレーズの決定

（1）実行委員会での審査結果

得 点	作 品
最優秀賞	山と共に～人と自然がつながる社会へ～
優秀賞	山の力 生きる力
優秀賞	生きよう 山とともに 守ろう山の恵みを
優秀賞	つなげよう 広げよう ぼくたちの山の未来へ
優秀賞	考えよう。現在（イマ）の山、未来（コレカラ）の山
優秀賞	おいしい水、きれいな空気、山の恵みは無限大

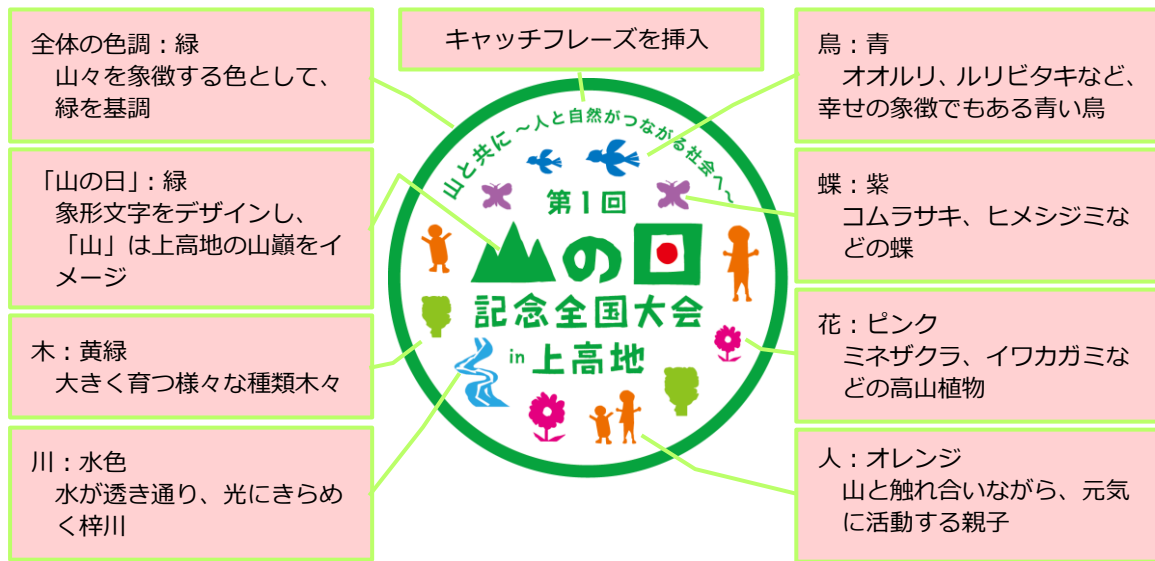
（2）使用方法

最優秀賞作品は、シンボルマークと組み合わせ、実行委員会としての統一的な広報等に使用し、優秀賞作品等についても大会専用ホームページ等で活用する。

3 第1回「山の日」記念全国大会ロゴマーク等の決定

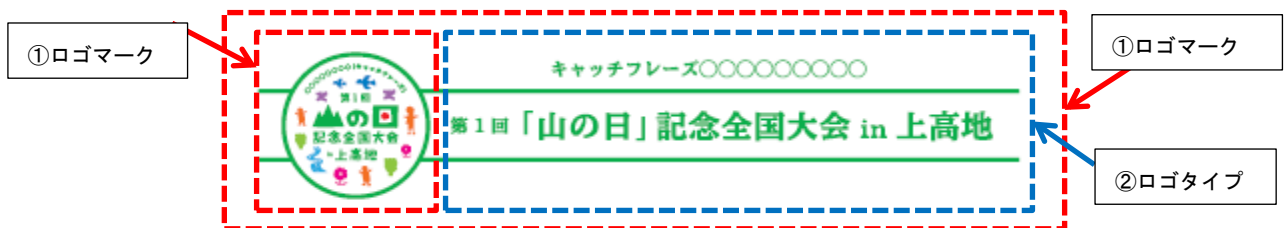
(1) 大会ロゴマークの決定

- ・安曇・大野川・奈川小から参加した子供たち全員が鳥や人などのモチーフの制作に関わり、小野圭介デザイナー監修により色彩豊かな「山の未来」を想像させるマークが完成



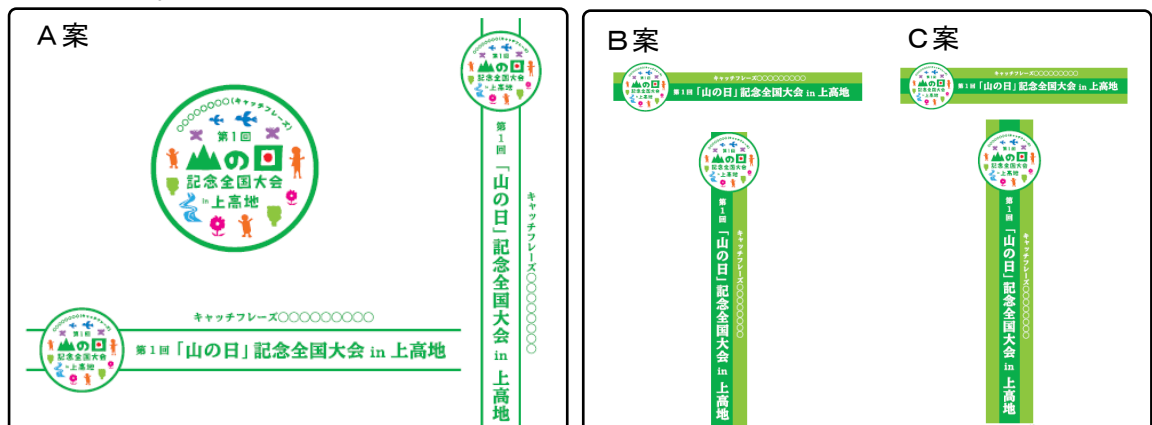
(2) ロゴマークの権限等

ロゴマーク等の権限は実行委員会に帰属し、制式、彩色及び使用に関し、別に規程を定める。なお、シンボルマークにキャッチフレーズを組み込んで使用することとし、下記のとおり①をロゴマーク、②をロゴタイプと呼ぶ。



(3) 大会ロゴマーク等の基本デザイン及び展開例

A案を基本デザインとして使用し、掲載媒体の展開方法に応じてB案又はC案を使用する。



第1回「山の日」記念全国大会実行委員会 補正予算

平成28年1月8日～平成28年12月31日

収入合計 **146,600,000** 円

支出合計 **146,600,000** 円

【 収 入 】 (単位：円)

科 目	当初予算額	補正予算額	予算額計	内 訳	適 用
負 担 金	31,910,000	84,680,000	116,590,000	長野県 58,295,000 松本市 58,295,000	長野県・松本市負担金
協 賛 金	0	30,000,000	30,000,000	協賛各社 30,000,000	協賛金、負担金等
諸 収 入	10,000	0	10,000	利息等 10,000	預金利息等
合 計	31,920,000	114,680,000	146,600,000		

【 支 出 】 (単位：円)

科目	節 区分	当初予算額	補正予算額	予算額計	内 訳	説 明
	事業費					
	実行委員会 運営費	1,240,000	11,260,000	12,500,000	報償費 500,000 旅費 2,000,000 需用費 500,000 役務費 4,000,000 委託料 4,500,000 使用料及び賃借料 1,000,000	講師謝礼 実行委員、運営委員旅費 消耗品、印刷製本費等 協賛営業手数料 大会記念誌作成委託料 会場使用料等
	記念式 典費	4,700,000	69,300,000	74,000,000	報償費 4,500,000 旅費 8,000,000 需用費 8,500,000 委託料 41,000,000 使用料及び賃借料 12,000,000	演奏者、講演者、通訳等謝礼 交通費、宿泊費 式典準備等消耗品 会場運営費、モニュメント制作費、中継 放送費、実施設計委託料 ホテル使用料、大型バス借り上料
	記念行 事費	0	19,900,000	19,900,000	報償費 1,200,000 旅費 300,000 需用費 400,000 委託料 18,000,000	学識経験者、通訳、司会者等謝礼 交通費 消耗品等 レセプション、国際会議、音楽祭、展示 会等委託料
	広報活 動費	19,840,000	5,160,000	25,000,000	需用費 5,000,000 広告費 15,000,000 委託料 5,000,000	イベント材料費、食糧費、ポスター・チ ラシ等印刷製本費、広報グッズ作成費 テレビ番組制作、新聞・雑誌特集広報 費、ポスター掲出費等 HP制作・管理、シンボルマーク制作、ブ レスツアー等委託料
	事務費	5,840,000	8,360,000	14,200,000	職員手当 150,000 共済費 50,000 賃金 1,000,000 旅費 4,000,000 需用費 2,000,000 役務費 1,000,000 使用料及び賃借料 6,000,000	通勤手当 他 労働保険 他 内業臨時職員 他 普通旅費（国関係機関調整旅費、県関係 事務連絡旅費、総会旅費、協賛旅費） 事務用品、消耗品、ガソリン代 他 通信料・郵便料、振込手数料 自動車リース使用料、PC・カラー複合機 他賃借料、インターネット使用料等
予 備 費	予備費	300,000	700,000	1,000,000		
合 計		31,920,000	114,680,000	146,600,000		